



「昭和7年の高本原開田記念碑建設」

県が、大正3年から4年にかけて実施した「高本原開田事業」。米の生産力拡大に影響を与えました。

資料：都城歴史資料館所蔵



「前田用水路の工事」

明治時代、「前田正名」や「坂元源兵衛」らが前田用水路工事を実施。稲作のための水路を整備しました。

資料提供：庄内の昔を語る会

都城歴史資料館企画展

都城の歴史と人物

「明治・大正・昭和の歩み」

明治から昭和にかけ、社会や経済は近代化により著しく発展。本企画展では、人々の生活も大きく変化した当時の都城の様子について紹介します。

さらに本企画展では、出来事だけではなく、「みやこんじょ」を知ろう!! 都城の歴史と人物」に掲載されている、都城で活躍した22人にスポットを当てます。「都城の発展」の礎を築いた偉人たちの功績に触れながら、郷土の歴史を学んでみませんか。

●問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

展示内容

◎明治期の都城

明治維新をきっかけに、転換期を迎えた日本。太陽暦や新時法なども導入され、人々の生活にも大きな変化が生じる中、都城の人々が、新たな生活に対応していく当時の様子を紹介します。

◎明治末期～大正初期の都城

鉄道の開通や陸軍連隊本部の設置など、都城にとって大きな変化が起きた時代。この頃、都城で行われていた前田用水路工事（庄内・山田・志和池地区）や高本原開田事業など、産業の近代化の様子を紹介します。

◎大正期の都城

米の生産力拡大や交通網の発達など、都城でも近代化がさらに進展。文化も発展し、現代に通じる娯楽の登場などを紹介します。

◎昭和期の都城

戦争がもたらした生活への影響と、復興の様子を紹介します。

そのほかの主な展示

文化財保護行政の基礎を築いた瀬之口伝九郎の直筆ノート「北諸郡石器時代地名表」／大衆政治家をモットーに活躍した水久保甚作の賜杯／県内、女性初の日展に入選した児玉実枝が描いた色紙 など

その他

会期中「遊んで学ぼう!」すごろくワークシート」を無料配布。大人も子どもも、楽しみながら都城の歴史を学ぼう!



●会期

12月18日(金)～令和3年4月11日(日)
※月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、および年末年始（12月29日(火)～1月3日(日)）は休館

●開館時間 9時30分～17時

※入館は16時30分まで

●入館料

大人220円（160円）
高校生以上160円（110円）
小・中学生110円（50円）
※（ ）は20人以上の団体料金



「榎本仕入帳」など

林業で財をなした後藤家（高城町）が、船を漕ぐ「櫓」の材料などの仕入れや売買に用いた台帳。
資料：個人所蔵

都城島津邸寄託